

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日 東

上場会社名 河西工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 7256 URL http://www.kasai.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 浩治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 半谷 勝二 (TEL) 0467-75-1125  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	176,724	14.8	12,741	68.5	12,455	63.9	6,876	54.4
27年3月期第3四半期	153,955	16.7	7,563	42.9	7,599	33.1	4,452	38.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 6,993百万円( 3.3%) 27年3月期第3四半期 6,768百万円( △3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	180.85	179.49
27年3月期第3四半期	118.04	117.55

(注) 平成27年3月期第3四半期において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い、平成27年3月期第3四半期の四半期連結財務諸表を遡及修正しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	133,331	54,832	35.7
27年3月期	128,271	49,392	33.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 47,630百万円 27年3月期 42,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
28年3月期	—	12.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	7.0	14,700	26.2	14,300	21.6	7,200	9.6	189.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	39,511,728株	27年3月期	39,511,728株
28年3月期3Q	1,463,330株	27年3月期	1,553,320株
28年3月期3Q	38,026,743株	27年3月期3Q	37,723,317株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用情勢等の改善を受けて、個人消費が順調に推移し、景気は拡大基調が続きました。中国では景気は減速しているものの、良好な雇用環境を背景に、個人消費は底堅く推移しました。欧州では個人消費を中心として緩やかな回復が続きました。我が国経済は政府や日銀による経済・金融政策により、企業業績や雇用・所得の改善が見られるものの、個人消費の低迷を受けて、全体として景気は横ばいで推移しました。

当社グループの関連する自動車業界では、米国市場では低金利・ガソリン安が続く中、堅調な雇用環境を背景に、大型車等を中心に販売が好調に推移しました。中国市場では景気減速の影響があるものの、一部ではSUVの販売が順調に推移しました。欧州市場では依然として水準は低いものの、販売は安定して推移しました。国内市場では軽自動車の増税影響により需要の落ち込みが継続しました。

このような経営環境の中で、当社グループではグローバルな自動車内装部品メーカーとしての地位を確立すべく、品質の確保、生産性向上と原価低減活動の推進、製品開発力・技術力の強化を図り、海外を含む事業展開を積極的に進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,767億24百万円と前年同四半期に比べ227億68百万円の増収(+14.8%)、営業利益は127億41百万円と前年同四半期に比べ51億77百万円の増益(+68.5%)、経常利益は124億55百万円と前年同四半期に比べ48億56百万円の増益(+63.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は68億76百万円と前年同四半期比24億24百万円の増益(+54.4%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

主要得意先による着実な販売を受けて、売上高は451億48百万円と前年同四半期比18億20百万円の増収(+4.2%)となり、セグメント利益は10億90百万円と前年同四半期比7千万円の増益(+6.9%)となりました。

(北米)

主要得意先の自動車販売が順調に推移したことに加え、型設備売上や為替の影響もあり、売上高は904億87百万円と前年同四半期比116億2百万円の増収(+14.7%)となり、セグメント利益は54億91百万円と前年同四半期比25億35百万円の増益(+85.7%)となりました。

(欧州)

主要得意先の底堅い販売動向から、売上高は118億26百万円と前年同四半期比6億5百万円の増収(+5.4%)となり、セグメント利益は9億57百万円と前年同四半期比4億10百万円の増益(+75.0%)となりました。

(アジア)

主要得意先の中国・アセアン市場での堅調な販売状況により、売上高は292億61百万円と前年同四半期比87億39百万円の増収(+42.6%)となり、セグメント利益は55億33百万円と前年同四半期比23億15百万円の増益(+72.0%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における状況は以下のとおりであります。

(資産)

総資産は1,333億31百万円と前連結会計年度末に比べ、50億59百万円の増加(+3.9%)となりました。主な増加は、現金及び預金35億78百万円、有形固定資産7億69百万円であります。

(負債)

負債は784億98百万円と前連結会計年度末に比べ、3億80百万円の減少(△0.5%)となりました。主な減少は、短期借入金20億9百万円であります。

(純資産)

純資産は548億32百万円と前連結会計年度末に比べ、54億40百万円の増加(+11.0%)となりました。主な増加は、利益剰余金60億40百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成27年11月6日に「通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(表示方法の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,436	11,015
受取手形及び売掛金	31,485	31,156
製品	994	852
仕掛品	8,929	8,857
原材料及び貯蔵品	6,127	5,586
その他	4,480	6,131
貸倒引当金	△83	△130
流動資産合計	59,370	63,469
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,244	38,258
減価償却累計額	△18,785	△19,562
減損損失累計額	△368	△447
建物及び構築物(純額)	17,090	18,249
機械装置及び運搬具	61,495	63,432
減価償却累計額	△40,611	△42,963
減損損失累計額	△86	△257
機械装置及び運搬具(純額)	20,797	20,211
工具、器具及び備品	28,240	27,880
減価償却累計額	△21,271	△21,848
減損損失累計額	△1	△17
工具、器具及び備品(純額)	6,966	6,013
土地	6,530	6,849
建設仮勘定	5,682	6,513
有形固定資産合計	57,067	57,836
無形固定資産		
のれん	1,488	1,302
その他	715	816
無形固定資産合計	2,204	2,119
投資その他の資産		
投資有価証券	7,839	8,204
その他	1,796	1,707
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	9,629	9,905
固定資産合計	68,901	69,861
資産合計	128,271	133,331

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,182	25,374
短期借入金	13,714	11,704
未払法人税等	885	1,220
賞与引当金	1,108	1,291
その他	12,799	12,795
流動負債合計	54,689	52,386
固定負債		
長期借入金	18,305	18,329
退職給付に係る負債	3,151	2,648
その他	2,732	5,133
固定負債合計	24,189	26,112
負債合計	78,879	78,498
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,821	5,821
資本剰余金	5,297	5,332
利益剰余金	26,809	32,850
自己株式	△655	△617
株主資本合計	37,271	43,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,504	2,793
為替換算調整勘定	2,838	1,663
退職給付に係る調整累計額	△155	△212
その他の包括利益累計額合計	5,187	4,244
新株予約権	78	106
非支配株主持分	6,854	7,095
純資産合計	49,392	54,832
負債純資産合計	128,271	133,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	153,955	176,724
売上原価	135,322	152,290
売上総利益	18,633	24,434
販売費及び一般管理費	11,069	11,692
営業利益	7,563	12,741
営業外収益		
受取利息	46	34
受取配当金	77	102
為替差益	89	—
その他	245	242
営業外収益合計	458	379
営業外費用		
支払利息	399	359
為替差損	—	237
その他	22	68
営業外費用合計	422	664
経常利益	7,599	12,455
特別利益		
固定資産売却益	36	8
段階取得に係る差益	49	—
その他	—	3
特別利益合計	86	11
特別損失		
固定資産売却損	11	18
固定資産除却損	25	18
減損損失	119	294
その他	25	—
特別損失合計	182	331
税金等調整前四半期純利益	7,503	12,136
法人税、住民税及び事業税	1,817	3,252
法人税等調整額	501	628
法人税等合計	2,318	3,880
四半期純利益	5,185	8,255
非支配株主に帰属する四半期純利益	732	1,378
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,452	6,876



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	5,185	8,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	289
為替換算調整勘定	1,330	△1,314
退職給付に係る調整額	△2	△56
持分法適用会社に対する持分相当額	16	△180
その他の包括利益合計	1,583	△1,262
四半期包括利益	6,768	6,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,843	5,933
非支配株主に係る四半期包括利益	924	1,059

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)1
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,327	78,884	11,221	20,522	153,955	—	153,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,638	19	—	1,019	6,677	△6,677	—
計	48,966	78,904	11,221	21,541	160,633	△6,677	153,955
セグメント利益	1,020	2,956	546	3,217	7,741	△178	7,563

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差異の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,741
セグメント間取引消去	△92
企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による調整額	△85
四半期連結損益計算書の営業利益	7,563

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

アジアセグメントにおいて、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては119百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,148	90,487	11,826	29,261	176,724	—	176,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,659	16	—	997	7,673	△7,673	—
計	51,808	90,504	11,826	30,258	184,398	△7,673	176,724
セグメント利益	1,090	5,491	957	5,533	13,073	△331	12,741

(注) 1. セグメント利益の調整額△331百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

日本セグメントにおいて、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては294百万円であります。

## (企業結合等関係)

平成26年10月1日(前第3四半期連結会計期間)に行われたAntolin Kasai TEK Chennai Private Ltd.との企業結合について、前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末において確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に見直しが反映されております。

修正項目	のれんの修正金額
のれん(修正前)	99 百万円
土地	△19
繰延税金負債	6
<hr/>	
修正金額合計	△13
のれん(修正後)	85 百万円

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、のれん償却額が85百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ85百万円減少しております。